

授業科目

看護教育学

担当教員名 中山 和美	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	◎	○	○

授業の概要

1. 日本の看護師教育の歴史的背景を踏まえ、今日の看護教育制度の種類と特徴を比較検討する。
2. 看護教育の方法や評価など、教育をめぐる項目の理解を深めるためのグループワークを行う。
3. 継続教育について考察する。

授業の目的

1. 日本における看護教育の変遷がわかる。
2. 看護教育方法、看護教育評価がわかる。
3. 継続教育の必要性を認識する。

学習目標

- 1 日本における看護教育の変遷が説明できる。
- 2 看護教育制度とその特徴が説明できる。
- 3 看護教育方法の種類と特徴ならびに評価について述べるができる。
- 4 継続教育の必要性が認識できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	日本における看護教育の変遷、教育制度と関係する法的基盤	講義	中山 和美
2	看護教育制度の種類と特徴、大学で看護を学ぶとは	講義、グループワーク	中山 和美
3	カリキュラムデザイン	講義 演習	中山 和美
4	看護教育方法	講義 演習	中山 和美
5	看護教育方法、学習理論の活用	講義 演習	中山 和美
6	看護教育評価	講義、グループ学習	中山 和美
7	卒後教育（大学院で学ぶ、高度実践看護師・認定看護師教育）	講義・グループ学習、自己学習	中山 和美
8	主体的に学ぶ力を身につけるために	講義、質疑応答	中山 和美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	看護教育学	杉森みど里 他	医学書院	2012年	5,040円	
その他の資料						

評価方法

レポートで評価する。欠席が多い場合や参加態度が悪い場合は減点することがある。

履修上の留意点

グループ学習、自己学習の時間は積極的に参加・学習することを勧めます。

オフィスアワー・連絡先

メールにて予定を確認しアポをとってください。

連絡先：nakayama@nuhw.ac.jp